

THE FASCINATING WORLD OF FILM POSTER DESIGN



企画展

魅惑の映画ポスターデザイン

甦る街角の芸術

2018 6.22(金) - 9.17(月祝)

企画展観覧料

一般:200円(140円) 小・中学生:100円(70円) ()内は20名以上の団体料金

鎌倉市川喜多映画記念館

20世紀の都市の風景はポスターを始めとする「広告」が街を賑わせ、移りゆく街並みを束の間に彩っていました。各国の建物や環境に見合う広告物の大きさと制作され、その土地の生活や流行、社会情勢を反映しながら「街角の芸術」としても人々を魅了してきました。

映画ポスターがどのように見られていたかも国によって異なります。チェコやポーランドでは、宣伝媒体というよりはむしろグラフィックアートとして受容されていました。宣伝効果を重視したアメリカのビルボード（大型広告板）的な大衆向けのアプローチ、著名デザイナーによるフランスの劇場広告、ロシア・アヴァンギャルドの芸術と密接に結びついたダイナミックな構図など、それぞれに特色があります。

本企画展では世界各国の魅力的なポスターを、日本の作家たちのアートワークも含め紹介します。広告的な戦略に基づく創意工夫、デザイナー独自のユーモアや解釈が映画の雰囲気と絶妙にマッチするものなど、ポスター芸術のさまざまな意匠をお楽しみください。

右のポスター

『美女と野獣』(1946年) フランス版 ポスター:ジャン=ドゥニ・マルクレス

表紙のポスター(左上から右下)

『ぼくの伯父さん』(1958年) フランス版 ポスター:ピエール・エテックス

『ホフマン物語』(1951年) 日本版 ポスター:野口久光

『地獄の黙示録』(1979年) 西ドイツ版 ポスター:ポプ・ピーク

『反撥』(1965年) イギリス版 ポスター:ヤン・レニツァ

『シェイプ・オブ・ウォーター』(2017年) アメリカ版 ポスター:ジェームズ・ジーン

『ジャッカルの日』(1973年) ポーランド版 ポスター:エリク・リビンスキ

『わんぱく戦争』(1962年) フランス版 ポスター:レイモン・サヴィニャック

『中国女』(1967年) 日本版 ポスター:粟津潔

『スパイ』(1957年) フランス版 ポスター:Siné(モーリス・シネ)

『キートン将軍(キートンの大列車追跡)』(1926年) 西ドイツ版 ポスター:ハンス・ヒルマン



企画展 一般 200 円(140円) 小・中学生 100 円(70円)
観覧料 ※()内は20名以上の団体料金 ※映画鑑賞料金は別途

ギャラリートーク

参加無料(要入館)

7月15日⑧ 15:40~

紙々の深き欲望 ポスター絵師たちの飽くなき探求

ゲスト 小笠原正勝 (グラフィックデザイナー)

岩波ホールでの「エキブ・ド・シネマ」やフランス映画社のBOWシリーズで名作のポスターを手がけてきた小笠原正勝さんと展示室を周遊します。作品からどのようなインスピレーションを得てアートワークを作り上げているのか、ポスター絵師たちの着眼点に目を向け、ポスターにこめられた至微至妙を探ってみましょう。



『股旅』(1973年) 1973.4.7公開(ATG)
ポスター:小笠原正勝 絵:市川舞子

8月12日⑧ 15:30~

紙上最大の作戦 ポスターは見てから描くか、描いてから見るか

ゲスト 檜垣紀六 (広告図案士) × 大島依提亜 (グラフィックデザイナー)

まだ海外から本編フィルムも届いておらず、プレス資料とスチル写真が数枚…このような状況においても工夫を凝らした宣伝術とデザインで数々の映画を大ヒットに導いてきた檜垣紀六さんに、『サスペリア』『ランボー』などの娯楽映画から『ベトナムから遠く離れて』のようなATG(アート・シアター・ギルド)作品まで、公開時のポスターはどのようなプロセスで作られていたのか、同じくデザイナーとして活躍中の大島依提亜さんとともにお話を伺います。



『火の馬』(1964年) 1969.3.22公開(ATG)
ポスター:檜垣紀六

8月26日⑧ 15:10~

ポスター・ストレンジラブ

各国のポスターデザインは如何にして作品の魅力を一枚のカタチにしたのか

ゲスト 小野里徹 (ポスターコレクター) × 岡田秀則 (国立映画アーカイブ主任研究員)

世界各国のポスターデザインの特徴や違いについて、映画の内容に照らし合わせながら細かく解説していきます。「一枚の紙の上に描かれたポスターがその映画の作品論になっていることもある」というポスターデザインの奥深い世界を、展示している小野里コレクションを中心に見ていきます。人を惹きつけてやまない魅惑の映画ポスターの秘密にせまります。

(左)『裸のランチ』(1991年) アメリカ版 ポスター:スティーブ・ツイガー

(右)『ファゴ』(1996年) アメリカ版 ポスター:K. Swann, E. Kintler, J. Waxel



小野里徹 (POSTER-MAN) 氏所蔵

上映作品

*作品により映像・音声が必要しも良好ではないものがあります。場合によっては上映素材・作品の変更がありますことをご承知ください。

1 地獄の黙示録 劇場公開版

6月26日(火)10時半、27日(水)14時、
29日(金)14時、7月1日(日)14時

1979年/アメリカ/カラー/DCP/147分
監督:フランシス・フォード・コッポラ 出演:マローン・ブランド、ロバート・デュヴァル、マーティン・シーン、デニス・ホッパー
『ゴッドファーザー』などで知られる世界的巨匠、フランシス・コッポラがベトナム戦争をテーマに謳い上げた歴史大作。難航を極めた製作の末に完成した怪物のような本作は、混迷した時代に生きる我々にとって今今日的な問題意識を投げかける。



© 1979 Cinri Zoetrope. All Rights Reserved.

2 シェイプ・オブ・ウォーター

6月26日(火)14時、28日(木)14時、
30日(土)14時、7月1日(日)10時半

2017年/アメリカ/カラー/DCP/124分
監督:ギレルモ・デル・トロ 出演:サリー・ホーキンス、マイケル・シャノン、リチャード・ジェンキンス、ダグ・ジョーンズ
2018年のアカデミー賞作品賞に輝き、全世界の注目を集めたファンタジックな恋愛映画。1960年代冷戦下のアメリカで、政府によって極秘に運び込まれた不思議な生き物と、発話障がいを持つ孤独な女性が恋に落ち愛を育むのだが…。



© 2018 Twentieth Century Fox

3 鉄道員

7月10日(火)10時半、11日(水)14時、
13日(金)14時、15日(日)13時半

1956年/イタリア/白黒/35mm/115分
監督:ピエトロ・ジェルミ 出演:エドアルド・ネヴォラ、ルイザ・デラノヴァ、シルヴァ・コシナ、レナート・スペツィアリ
第二次世界大戦後のイタリアを舞台に、一人の若者の投身自殺から危機を迎えていく初老の鉄道員とその家族の生活を、未亡子の少年の眼を通して見つけた映画史に残る名作。家族の愛、庶民たちの喜怒哀楽が温かく謳い上げられる。



© E.N.C. - E.N.I. - Nuova Industrie Cinematografiche 1956 - Suf. Film Srl. All rights reserved.

4 コルチャック先生

7月10日(火)14時、12日(木)14時、
14日(土)14時、15日(日)10時半

1990年/ポーランド=ドイツ/白黒/DCP/118分
監督:アンジェイ・ワイダ 出演:ヴォイチェフ・ブシヨニャック、エヴァルダ・コウスカ、ビョートル・コスロウスキー
第二次大戦下のポーランドで、児童文学者・孤児院の経営者でもあったユダヤ人医師コルチャックが、ナチスの迫害が高まる中、最後まで子どもたちを守り続けた姿を描いた名作。ホロコーストの悲惨さの中にヒューマンズムが浮かび上がる。



© Ziegler Film, KADR

5 若者のすべて デジタル完全修復版

7月24日(火)10時・14時、
29日(日)10時・14時

1960年/イタリア=フランス/白黒/DCP/179分
監督:ルキノ・ヴィスコンティ 出演:アルド・ドロン、アーニ・ジラルド、レナート・サルヴァトーリ、クラウディア・カルディナーレ
貧しいイタリアの南部から北部に移住した家族の都会での残酷な現実を、アラン・ドロン演じる三男口ッコを中心に描き、イタリアン・ネオリアリズムの集大成とされる作品。ヴィスコンティは次作『山猫』以降、作風を大きく変えていく。 ※途中休憩あり



© 1960 TF1 Droits Audiovisuels - Titusnet

6 ルートヴィヒ デジタル修復版

7月25日(火)12時半、26日(水)12時半、
27日(木)12時半、28日(金)12時半

1972年/イタリア=西ドイツ=フランス/カラー/DCP/237分
監督:ルキノ・ヴィスコンティ 出演:ヘルムート・バーガー、ロミー・シュナイダー、トレヴァー・ハワード、シルヴァーナ・マンガンー
類い稀な美貌の持ち主で、ワグナーに心酔するなど芸術を愛して国費をつぎこんだ19世紀のバイエルン王、ルートヴィヒ2世の若き日を描いた歴史ドラマ。多額の製作費をかけ、ノイシュヴァンスタイン城などの名所でもロケを行なった。 ※途中休憩あり



© Licensed by COPPASS FILM SRL - Rome - Italy. All Rights reserved.

7 フレンチ・カンカン 復元長尺版

8月7日(火)10時半、8日(水)14時、
10日(金)14時、12日(日)13時半

1954年/フランス/カラー/35mm/102分
監督:ジャン・ルノワール 出演:ジャン・ギャバン、フランソワーズ・アルヌール、マリア・フェリックス、ミシェル・ピコリ
印象派の画家ルノワールの息子で、フランスを代表する映画人であるジャン・ルノワールが、パリの名物ムーラン・ルージュの由来となったキャバレーを舞台に描く、幸福感溢れる傑作オペレッタ。ピアフ、グレコらシャンソン歌手のゲスト出演も要注目!



© 1954 Gaumont - Uly Films

8 恋多き女 デジタル修復版

8月7日(火)14時、9日(木)14時、
11日(土)14時、12日(日)10時半

1956年/フランス/カラー/DCP/99分
監督:ジャン・ルノワール 出演:イングリッド・バーグマン、ジャン・マレー、メル・ファーラー、マガリ・ノエル、ジュリエット・グレコ
20世紀初め、革命記念日に沸くパリを舞台に、ポーランドから来た美貌の公女エレーナと3人の男を巡って繰り広げられる恋愛喜劇。ハリウッドに復帰する前のイングリッド・バーグマンがルノワールの手で輝きを放った魅力溢れる作品。



© 1956 Gaumont - Studio Canal Image

9 5時から7時までのクレオ

8月21日(火)10時半、22日(水)14時、
24日(金)14時、26日(日)13時半

1961年/フランス/白黒/35mm/90分
監督:アニエス・ヴァルダ 出演:コリンヌ・マルジャン、アントワヌ・ブルセイエ、アンナ・カレーナ、ジャン＝クロード・ブリアリ
ブロンド髪の美しいシャンソン歌手クレオが、ガン検診の結果を待つ2時間の間、不安を抱えながらあてもなくパリの街を彷徨う姿を追った画期的な作品。M.ルグランなどにぎやかな友情出演からもヌーヴェル・ヴァーグの活気ある雰囲気を感じ取れる。



© Agnès Varda et enfants 1961

10 勝手にしやがれ

8月21日(火)14時、23日(木)14時、
25日(土)14時、26日(日)10時半

1959年/フランス/白黒/DCP/90分
監督:ジャン＝リュック・ゴダール 出演:ジャン＝ポール・ベルモンド、ジャン＝セバグ、ダニエル・ブーランジェ
恋人達の奔放な日常から破滅までを、常識を打ち破る斬新な手法やパリの街を鮮やかに切り取ったモノクロームの映像で描いた、フランス、ヌーヴェル・ヴァーグの記念碑的作品。常に新しさを失わず、いつの時代も観られるべき一作。



© Studio Canal

11 ギルバート・グレイブ

9月4日(火)10時半、5日(水)14時、
7日(金)14時、9日(日)14時

1993年/アメリカ/カラー/DCP/117分
監督:ラッセ・ハルストレム 出演:ジョニー・デップ、ジュリエット・ルイス、レオナルド・ディカプリオ、メアリー・ステイーンバーゲン
若きジョニー・デップが心優しい青年を演じ、知的障がいを持つ少年を演じたレオナルド・ディカプリオの出世作としても知られる名作。アメリカの小さな町に生きる家族の生活を、スウェーデン出身の名匠が爽やかな感動と共に描き出す。



© 1993 DORSET SQUARE FILM PRODUCTION AND DISTRIBUTION KFT

12 スモーク デジタルリマスター版

9月4日(火)14時、6日(木)14時、
8日(土)14時、9日(日)10時半

1995年/アメリカ=日本/カラー/DCP/113分
監督:ウェイン・ワン 原作・脚本:ポール・オースター 出演:ハーヴェイ・カイテル、ウィリアム・ハート、ハロルド・ペリノー・Jr
ブルックリンの煙草屋を舞台に、下町に生きる人々の日常の悲喜こもごもを、ドライにそしてシンプルに描き、ミニシアター全盛時代の日本でロングラン大ヒットを記録した作品。現代アメリカ文学を代表するポール・オースターによる脚本も秀逸。



© 1995 Miramax/NDF/Euro Space

13 シェルブールの雨傘

9月11日(火)10時半、12日(水)14時、
14日(金)14時、16日(日)14時

1963年/フランス/カラー/DCP/91分
監督:ジャック・ドゥミ 音楽:ミシェル・ルグラン 出演:カトリーヌ・ドヌーヴ、ニーノ・カステルヌオーヴォ、マルク・ミシェル
フランスの港町を舞台に、傘屋の娘と工員の青年が繰り広げる恋物語を、ポップでカラフルな映像と、すべての台詞を歌で表現した画期的なミュージカル。カトリーヌ・ドヌーヴの出世作であり、名コンビとなるドゥミとルグランの初タッグ作としても名高い。



© Cinéma - Titusnet

14 アメリ

9月11日(火)14時、13日(木)14時、
15日(土)14時、16日(日)10時半

2001年/フランス/カラー/DCP/120分
監督:ジャン＝ピエール・ジュネ 出演:オドレイ・トトゥ、マチュー・カウツィツ、ヨランド・モロー、ジャメル・ドゥブーズ
空想好きでチャーミングなアメリカが、持ち前の想像力を生かして他人を幸せにしていって日々を描くファンタジックな作品。遊び心いっぱいレトロでキッチュな映像やパリの街並みなどが人気を博し、単館ロードショーながら公開当時大ヒットした。



© VICTOIRES PRODUCTIONS-TAHOCA FILMS-FRANCE 3 CINEMA

映画鑑賞料金

一般 1,000円
小・中学生 500円

定員 51席

*チケットのご提示で企画展もご覧いただけます。
*チケットが完売した場合はご入場いただけません。

チケット発売日

6月の上映作品 1~2 6月 1日(金)
7月の上映作品 3~6 6月 16日(土)
8月の上映作品 7~10 7月 21日(土)
9月の上映作品 11~14 8月 18日(土)

チケット取り扱い お問い合わせ先

川喜多映画記念館窓口 0467-23-2500
たらば書房(鎌倉駅西口) 0467-22-2492
島森書店(鎌倉駅東口) 0467-22-0266
上州屋(大船駅東口) 0467-43-1000

上映スケジュール

企画展関連上映 魅惑の映画ポスターデザイン チケット発売日 6月1日(日)	6月	26 火	10:30	地獄の黙示録 (147分)	14:00	シェイプ・オブ・ウォーター (124分)	
		27 水			14:00	地獄の黙示録 (147分)	
		28 木			14:00	シェイプ・オブ・ウォーター (124分)	
		29 金			14:00	地獄の黙示録 (147分)	
		30 土			14:00	シェイプ・オブ・ウォーター (124分)	
企画展関連上映 魅惑の映画ポスターデザイン チケット発売日 6月16日(日)	7月	1 日	10:30	シェイプ・オブ・ウォーター (124分)	14:00	地獄の黙示録 (147分)	
				6月29日(日)～7月1日(日) 旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)の特別公開があります。 10:00～16:00(要入館) ※荒天時は公開が中止となる場合があります。			
		10 火	10:30	鉄道員 (115分)	14:00	コルチャック先生 (118分)	
		11 水			14:00	鉄道員 (115分)	
		12 木			14:00	コルチャック先生 (118分)	
		13 金			14:00	鉄道員 (115分)	映画談話室
		14 土			14:00	コルチャック先生 (118分)	
		15 日	10:30	コルチャック先生 (118分)	13:30	鉄道員 (115分)	ギャラリートーク
		24 火	10:00	若者のすべて (179分)	14:00	若者のすべて (179分)	
		25 水			12:30	ルートヴィヒ (237分)	
		26 木			12:30	ルートヴィヒ (237分)	
		27 金			12:30	ルートヴィヒ (237分)	
		28 土			12:30	ルートヴィヒ (237分)	
		29 日	10:00	若者のすべて (179分)	14:00	若者のすべて (179分)	
	企画展関連上映 魅惑の映画ポスターデザイン チケット発売日 7月21日(日)	8月	7 火	10:30	フレンチ・カンカン (102分)	14:00	恋多き女 (99分)
		8 水			14:00	フレンチ・カンカン (102分)	
		9 木			14:00	恋多き女 (99分)	
		10 金			14:00	フレンチ・カンカン (102分)	
		11 土・祝			14:00	恋多き女 (99分)	映画談話室
		12 日	10:30	恋多き女 (99分)	13:30	フレンチ・カンカン (102分)	ギャラリートーク
		14 火	10:30	また逢う日まで (111分)	14:00	ひめゆりの塔 (130分)	
		15 水	10:30	ひめゆりの塔 (130分)	14:00	浮雲 (124分)	
		16 木	10:30	浮雲 (124分)	14:00	また逢う日まで (111分)	
		17 金	10:30	また逢う日まで (111分)	14:00	浮雲 (124分)	
		18 土	10:30	ひめゆりの塔 (130分)	14:00	また逢う日まで (111分)	
		19 日	10:30	浮雲 (124分)	14:00	ひめゆりの塔 (130分)	
		21 火	10:30	5時から7時までのクレオ (90分)	14:00	勝手にしやがれ (90分)	
		22 水			14:00	5時から7時までのクレオ (90分)	
		23 木			14:00	勝手にしやがれ (90分)	
	24 金			14:00	5時から7時までのクレオ (90分)		
	25 土			14:00	勝手にしやがれ (90分)		
	26 日	10:30	勝手にしやがれ (90分)	13:30	5時から7時までのクレオ (90分)	ギャラリートーク	
企画展関連上映 魅惑の映画ポスターデザイン チケット発売日 8月18日(日)	9月	4 火	10:30	ギルバート・グレイブ (117分)	14:00	スモーク (113分)	
		5 水			14:00	ギルバート・グレイブ (117分)	
		6 木			14:00	スモーク (113分)	
		7 金			14:00	ギルバート・グレイブ (117分)	
		8 土			14:00	スモーク (113分)	映画談話室
		9 日	10:30	スモーク (113分)	14:00	ギルバート・グレイブ (117分)	
		11 火	10:30	シェルブールの雨傘 (91分)	14:00	アメリ (120分)	
		12 水			14:00	シェルブールの雨傘 (91分)	
		13 木			14:00	アメリ (120分)	
		14 金			14:00	シェルブールの雨傘 (91分)	
		15 土			14:00	アメリ (120分)	
		16 日	10:30	アメリ (120分)	14:00	シェルブールの雨傘 (91分)	



Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館
 TEL 0467-23-2500

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12
 HP <http://www.kamakura-kawakita.org>
 開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)、7月17日(日)
 主催:川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)
 ※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

映画談話室とは…
 当館スタッフが進行役となり、上映作品の解説も盛り込みながら、映画について皆様と語り合う時間です(約30分)。ゲストの方にご登壇いただくこともあります。出入り自由ですので、ぜひお気軽にご参加ください。(要入館、定員51席)

次回特別展
**「松本清張と
 ミステリー映画大全集(仮)」**
 9月22日(日)～12月16日(日)